

空き家対策の
法律が施行

平成27年5月26日、空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行となりました。これにより、空き家の所有者管理者が適正管理に努めるよう義務付けられる（防災衛生景観等の面から生活環境に影響）とともに、著しく危険または有害である「特定空き家等」と市が判断した場合は法に基づく措置（固定資産税特例の除外の対象になります）。



2期目の再選

このたび、4月の統一地方選挙にて「次世代にツケを残すな」を公約に掲げ、市民の皆様から議会に送っていただきました。先人と子孫のバトンを受け継ぐこと、それは私たちに課せられた使命であります。次世代にツケを残さず、しっかりとバトンを渡せるような、枚方市づくりが必要であり、行財政改革を推し進めていかねばなりません。今任期においても、こうした視点から発言・質問を行ってまいります。

会派の結成について

枚方市議会では、3人以上の議員で構成する「会派」を単位として議会が運営されており、選挙後に会派の結成を行いました。私は、「未来に責任を持った政治」「しがらみのない政治」「改革の姿勢」の方向性を同じくする議員5名で会派「未来に責任・大阪維新の会」を結成しました。（政党としては無所属の立場で活動をしてまいります。）

会派等の構成	会派名	人数
	公明党議員団	8名
	連合市民の会	7名
	自由民主党議員団	4名
	日本共産党議員団	4名
	民主市民議員団	3名
	平和・自治・市民	1名
	未来に責任・大阪維新の会	5名

(平成27年8月31日現在)

発行者紹介



- 好きな言葉**
- 一燈照隅(各々が持ち場で責任を果たす)
 - 自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ
- 尊敬する人** 両親
- 好きな食物** カレーライス
- 家族構成** 妻、娘(7才)

皆さんと一緒に、枚方の政治を変えていきたい。

岩本ゆうすけ 無所属

- 昭和55年3月5日、大手前病院生まれ
- 甲斐田新町出身、東牧野町在住
- きよし幼稚園、山田東小、山田中を経て近大附属高校卒。ユングバウムに学ぶ。
- 立命館大学法学部卒業
- (株)バンナ
- 大阪ガスセキュリティサービス(株)
- 平成23年5月より現職。平成27年4月、3,406票を頂戴し、再選。現在、厚生常任委員会 副委員長。
- (一社)枚方青年会議所、NPO法人ふれあいネットひらかた、地域活動や消防団にも参画。

WEBもご覧ください。 ホームページ <http://www.ganpon.net/>

ご意見やご質問・市政相談がございましたら、
岩本ゆうすけまでご連絡を!

携帯 070-6654-6679
メール yusuke@ganpon.net



枚方市長選挙

(平成27年8月30日投票率 投票率38.70%)

伏見 たかし 55,156票 当選

竹内 おさむ 52,801票
なんば 秀哉 9,517票
福川 ひろこ 7,122票

新市長の伏見たかし氏により、改革が進むことが期待されます。
私も立ち位置を変えることなく、市政改革の声をあげて参ります。



●平成27年5月31日：防災訓練

会派

未来に責任・大阪維新の会

※詳細は4ページ

TOPICS
教員不足を解消せよ!
職員の人事制度を改革せよ!

市政ニュース・空き家対策について
・枚方市長選挙について

無所属 枚方市議会議員

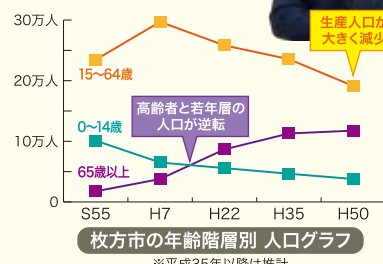
岩本ゆうすけ

次世代に
ツケを残すな!

※本チラシに掲載している質問・質疑・意見は、枚方市議会にて岩本が発言したものの要旨です。

岩本の考え

今後、人口減少や少子高齢化の進展により市税収入は減少し、扶助費は増大していきます。



また、「長期財政の見通し」では、新たなごみ処理施設や新庁舎に係る整備費用などは未反映です。予期せぬ税収の落ち込み、新たな財政負担など、予想外の事態にも柔軟に対応していかねばなりません。そのためにも、無くて困らない事業の削減など、さらなる行政改革を断行し、財政をさらに改善させていく取り組みが必要です。

質問 今後の財政の見通しについて、お尋ねします。

答弁 「長期財政の見通し」(27年2月策定)では、総合文化施設の整備費用や、計画に基づく施設の改修費用など、想定できる財政への影響を踏まえ、収支見通し算定を行っている。平成26～35年度の10年間の収支は、期間を通じ10億円以上の黒字(実質収支を維持できる見通し)である。



質問 黒字といっても臨時財政対策債(※借金)を含むものであり、楽観視できません。今後の財政運営での留意点をお聞かせください。

答弁 「長期財政の見通し」は、現行の制度、地方財政、社会保障が今後継続するものとして作成している。今後の国の動向には、十分注視する必要がある。また経済情勢が急激に悪化することも考えられ、情勢変化に対しても柔軟に対応し財政の健全性を維持していく必要がある。

これまで、実質収支については毎年、普通会計ベース黒字を計上できていました。しかし将来に目を向けると、急速な少子高齢化の進展や公共施設の維持補修費の増加、総合文化施設の建設など、様々な影響が懸念され、決して楽観できるものではありません。

枚方市財政の健全化を図れ!